

伊豆縦貫自動車道

Future Access ~未来へアクセス~ 伊豆縦貫自動車道

伊豆縦貫自動車道は、静岡県沼津市と下田市を結ぶ延長約60kmの高規格幹線道路です。

本自動車道は、東名高速道路及び新東名高速道路と接続して伊豆地域へ高速サービスを提供し、豊かな自然による風光明媚な景観と温泉などの観光資源に恵まれた伊豆地域の活性化に寄与します。さらに、伊豆地域の交通渋滞の緩和や、災害時の緊急輸送路としての役割など、快適な観光や安心して生活できる環境の実現などが期待されます。

高速サービスの提供

東名沼津IC~下田市まで、約60分で移動できるようになります。

■伊豆縦貫自動車道全線整備による時間短縮

整備前	整備後
約110分	約60分

所要時間 約50分短縮

医療活動の支援

伊豆半島全市町における第三次救急医療施設への搬送時間1時間圏内になります。

■現状の道路ネットワーク

■伊豆縦貫自動車道全線整備時の道路ネットワーク

第三次救急医療施設への搬送時間

- 1時間以上の地域
- 1時間以内の地域

災害時の緊急輸送路の機能確保

災害発生時の救命・救援ルートの骨格となる南北軸を形成します。

■大規模地震による被害想定と復旧に要する日数、過去の大地震による通行止め実績、津波浸水箇所、雨量規制区間

影響度ランク	被害規模	復旧に要する日数(目安)	被害のイメージ
AA - 大	1週間以上	橋の落橋、崩壊、地形の大変形等	
A - 中	3日~1週間	道路陥没(崖崩れ、溜りなど)、津波浸水、橋の倒壊、橋脚/地すべり被害、土砂崩壊等	
B - 小	当日~3日	液状化被害/その他小規模な被害等	
C - なし	-	-	

ストック効果に注目!

ストック効果とは?
道路整備効果には、「フロー効果」と「ストック効果」があります。これから「伊豆縦貫自動車道」により、地域がどのように変化するのか?を捉えるストック効果の例を紹介します。

フロー効果
公共投資時に短期的に現れる効果

- 雇用機会が生まれる
- 原材料の需要が高まる
- 所得増加により消費が増える

ストック効果
道路整備後に長期的に現れる効果

下記に示すように、地域や企業にとって様々な効果が現れます。

交通渋滞の緩和

伊豆地域の交通渋滞を緩和します。

■伊豆地域の混雑状況

■伊豆地域への利用交通手段

自動車利用が8割

■伊豆地域の観光情報

■金目川の現状の輸送経路

■金目川の主要部県の過剰量(H26)

観光振興の支援

アクセラート確保により、より多くの観光客を呼び込みます。

■伊豆縦貫自動車道

■伊豆ペドロームが2020年東京オリンピック・パラリンピック自転車競技の開催地に決定!

1 東駿河湾環状道路

東駿河湾環状道路は、高規格幹線道路「伊豆縦貫自動車道」の一部を構成し、沼津・三島都市圏の環状道路として整備中です。これにより、伊豆地域へ流入する観光・物流などの広域交通と生活交通などの都市圏内交通を分離し、渋滞を緩和します。さらに、本道路の整備により地域間の活発な交流を促進し、地域相互の広域的な連携強化を促進して活気ある一体的な圏域づくりを支援します。

事業の経緯

昭和48年度 調査開始

昭和62年10月2日 都市計画決定(1~4工区)

昭和63年度 事業化(2、3工区)

平成2年度 事業化(4工区)

平成3年度 事業化(1工区)

平成4年度 事業化(5工区)

平成7年2月21日 都市計画決定(5工区)

平成21年7月27日 沼津間IC~三島塚原IC(10km)開通

平成22年4月20日 長泉IC~三島塚原IC間連絡路開通

平成24年3月24日 三島JCT(新東名と同時開通)

平成24年4月14日 長泉JCT(新東名と同時開通)

平成26年2月11日 三島塚原IC~沼津塚原IC(6.8km)開通

計画概要

区間 静岡沼津市岡宮~静岡県田方郡南町平井

延長 15.0km

設計速度 80km/h

道路規格 1種3級(自動車専用道路)

車線数 4車線



国土交通省 沼津河川国道事務所
〒410-8567 沼津市下書真外第3244-2

沼津国道維持出張所
〒411-0943 沼津市長野町土市1027-1 (055) 986-1122

御殿場国道維持出張所
〒412-0026 御殿場市東田中1845-1 (0550) 82-2488

伊豆建設監督官事務所
〒410-2405 伊豆市加藤136-1 (0558) 72-5585

下田建設監督官事務所
〒415-0035 下田市東本郷1-6-13 (0558) 38-0445

414 天城北道路

天城北道路は、高規格幹線道路「伊豆縦貫自動車道」の一部を構成し、中伊豆地域の南北軸の交通を担う道路として平成30年度開通を目標に整備中です。

これにより、伊豆西部、伊豆南部地域へ向かう国道136号、414号及び伊豆東部地域へ向かう主要地方道伊東修善寺線などの交通の分岐点において、通過交通と生活交通を分離することで渋滞を緩和します。

さらに、本道路の整備により地域間の活発な交流を促進し、地域相互の広域的な連携強化を促進して活気ある一体的な圏域づくりを支援します。

事業の経緯

平成6年度 事業化

平成9年2月14日 事業アセス手続き完了(環境影響評価書)

平成12年度 用地着手

平成14年度 工事着手

平成20年4月11日 修善寺IC~大平IC(1.6km)開通

計画概要

区間 静岡県伊豆市修善寺~伊豆市矢野

延長 6.7km

設計速度 80km/h(本線)、60km/h(連絡路)

道路規格 1種3級(自動車専用道路)

車線数 4車線(本線)、2車線(連絡路)

【標準横断面】(単位:m) ※橋梁()は、橋長50m未満の橋梁

【標準横断面】(単位:m) ※橋梁()は、橋長50m未満の橋梁

【標準横断面】(単位:m) ※橋梁()は、橋長50m未満の橋梁

414 河津下田道路

河津下田道路は、高規格幹線道路「伊豆縦貫自動車道」の一部を構成し、南伊豆地域の南北軸の交通を担う道路として整備中です。

平行する国道414号は夏季大型車通行止区間や幅員狭小な区間が存在しており、また、下田市街では観光交通の集中により機能的な渋滞も発生しています。河津下田道路の整備によりこれらの課題解消を図ります。

さらに伊豆東部・西部・南部地域へ向かう主要地方道下佐々野谷津線、下田松崎線や国道136号との接続により地域相互の広域的な連携強化を促進して活気ある一体的な圏域づくりを支援します。

事業の経緯

■河津下田道路(Ⅰ期)

平成10年度 事業化

平成14年度 PIの実施

平成26年11月25日 都市計画決定 環境影響評価手続き完了(環境影響評価書)

■河津下田道路(Ⅱ期)

平成16年度 PIの実施 環境影響評価手続き完了(環境影響評価書)

平成24年度 事業化

計画概要

■河津下田道路(Ⅰ期)

区間 静岡県下田市

延長 5.7km

設計速度 80km/h

道路規格 1種3級(自動車専用道路)

車線数 2車線

■河津下田道路(Ⅱ期)

区間 静岡県河津町東本~下田市佐野

延長 6.8km

設計速度 80km/h

道路規格 1種3級(自動車専用道路)

車線数 2車線

【標準横断面】(単位:m) ※橋梁()は、橋長50m未満の橋梁

【標準横断面】(単位:m) ※橋梁()は、橋長50m未満の橋梁

【標準横断面】(単位:m) ※橋梁()は、橋長50m未満の橋梁

136 国道136号バイパス

事業の経緯

■沼津~大仁区間

昭和60年3月30日 沼津塚原IC~長岡北IC開通(約4.8km)

※伊豆中央道を含む長岡北IC~大仁中央IC開通(約3.8km)

平成7年1月30日 沼津塚原IC~三島塚原IC開通(約2.2km)

■修善寺工区

平成10年3月26日 大仁中央IC~熊坂IC開通(約3.0km)

※修善寺道路を含む熊坂IC~修善寺IC開通(約2.2km)

伊豆中央道(有料道路)

構造の規格

道路規格 3種2級

設計速度 60km/h

幅員 2車線 9.0m

【標準横断面】(単位:m)

【標準横断面】(単位:m)

【標準横断面】(単位:m)

【標準横断面】(単位:m)

【標準横断面】(単位:m)

【標準横断面】(単位:m)

伊豆縦貫自動車道



平成27年国勢調査人口等基本集計(総務省統計局)

静岡市	3,700,905	富士市	248,399	沼津市	159,789	伊豆市	110,046	伊豆市	88,345	伊豆市	36,112
静岡市	704,989	富士市	167,210	沼津市	139,462	伊豆市	114,602	伊豆市	85,789	伊豆市	52,737
静岡市	797,986	富士市	139,462	沼津市	143,805	伊豆市	85,079	伊豆市	22,916	伊豆市	52,737
静岡市	105,633	富士市	14,802	沼津市	48,152	伊豆市	45,547	伊豆市	7,303	伊豆市	8,524
静岡市	37,544	富士市	14,802	沼津市	48,152	伊豆市	45,547	伊豆市	7,303	伊豆市	8,524
静岡市	110,046	富士市	85,079	沼津市	45,547	伊豆市	12,624	伊豆市	7,303	伊豆市	8,524
静岡市	130,770	富士市	85,789	沼津市	12,624	伊豆市	7,303	伊豆市	8,524	伊豆市	8,524
静岡市	68,345	富士市	22,916	沼津市	7,303	伊豆市	8,524	伊豆市	8,524	伊豆市	8,524
静岡市	36,112	富士市	52,737	沼津市	8,524	伊豆市	8,524	伊豆市	8,524	伊豆市	8,524

直轄政界区間

路線名	延長	路線名	延長
①東駿河湾環状道路	15.0km	①山原山中バイパス	4.3km
②天城北道路	6.7	②須走道路	3.8
③河津下田道路(1期)	5.7	③御殿場バイパス(西区間)	4.3
④河津下田道路(II期)	6.8	④裾野バイパス	35.3

管内道路表

1 119	80 熱海大宮線	130 伊豆長岡線	168 石川一本松線
125 135	82 裾野インター線	131 西伊豆線	169 沼津線
136 137	83 熱海インター線	132 山原線	170 沼津線
138 139	84 熱海線	133 山原線	171 沼津線
139 139	85 熱海線	134 山原線	172 沼津線
140 141	86 熱海線	135 山原線	173 沼津線
141 414	87 熱海線	136 山原線	174 沼津線
469 469	88 熱海線	137 山原線	175 沼津線
No. 県道			
102 104	104 伊豆長岡線	138 山原線	176 沼津線
103 103	105 伊豆長岡線	139 山原線	177 沼津線
104 104	106 伊豆長岡線	140 山原線	178 沼津線
105 105	107 伊豆長岡線	141 山原線	179 沼津線
106 106	108 伊豆長岡線	142 山原線	180 沼津線
107 107	109 伊豆長岡線	143 山原線	181 沼津線
108 108	110 伊豆長岡線	144 山原線	182 沼津線
109 109	111 伊豆長岡線	145 山原線	183 沼津線
110 110	112 伊豆長岡線	146 山原線	184 沼津線
111 111	113 伊豆長岡線	147 山原線	185 沼津線
112 112	114 伊豆長岡線	148 山原線	186 沼津線
113 113	115 伊豆長岡線	149 山原線	187 沼津線
114 114	116 伊豆長岡線	150 山原線	188 沼津線
115 115	117 伊豆長岡線	151 山原線	189 沼津線
116 116	118 伊豆長岡線	152 山原線	190 沼津線
117 117	119 伊豆長岡線	153 山原線	191 沼津線
118 118	120 伊豆長岡線	154 山原線	192 沼津線
119 119	121 伊豆長岡線	155 山原線	193 沼津線
120 120	122 伊豆長岡線	156 山原線	194 沼津線
121 121	123 伊豆長岡線	157 山原線	195 沼津線
122 122	124 伊豆長岡線	158 山原線	196 沼津線
123 123	125 伊豆長岡線	159 山原線	197 沼津線
124 124	126 伊豆長岡線	160 山原線	198 沼津線
125 125	127 伊豆長岡線	161 山原線	199 沼津線
126 126	128 伊豆長岡線	162 山原線	200 沼津線
127 127	129 伊豆長岡線	163 山原線	201 沼津線
128 128	130 伊豆長岡線	164 山原線	202 沼津線
129 129	131 伊豆長岡線	165 山原線	203 沼津線

